

会場参加5人 アンケート提出5人：回収率（100%）

質問1. 立場を教えてください。

当事者	家族	職場	支援者	その他
0名	2名	0名	2名	1名

支援者内訳（ケアマネージャー1名、看護師・キャラバンメイト1名、包括2名）

その他内訳記載なし1名

質問2. 多田さんのお話を聞いて、ご自身の中で得られたことはありましたか？

- ・高齢者の認知症の支援は多いが若年性は居場所もなく経済的、仕事面、子どもの将来のことに影響が大きい、大変だなあと感じました。診断に13年もかかったことにも驚きです。
- ・私は夫が発達障害ではないかと思っていましたが、若年性の認知症も若い時に発症するのでもっと大変だったと思います。
- ・働き盛りの若年性認知症である家族と暮らす当事者の立場である多田さんの体験されたお話しで学びは大きかったです。理解が深められ、相談を受ける側として対応の仕方や支援の進め方等考えさせられました。
- ・気づきと、その後の支援。早期診断後の支援者とのつながり。
- ・多田さんのお話しの中で、子育て中でご自身も大変な中、自分の事だけではなく「同じように困っている人のために」と「はるそら」を立ち上げられたパワーに敬服しました。自身も介護家族ですが、とてもそのような余裕はありませんでした。

質問3. 若年性認知症相談窓口・若年性認知症支援コーディネーターの業務について

とても理解できた	まあ理解できた	難しかった	記載なし
2名	3名	0名	0名

4. 本日の講演会で参考になったことありますか？

- ・高齢者と違う→経済的、就労、子どもの支援、ヤングケアラー等の課題がある。
- ・人間らしく生きるには障がいがあるとその何倍も大変だと思います。でも知識がその人を助け、知識を身につけたいし いろいろ参考にしたいと思います。
- ・早期診断、治療、支援
- ・自身も介護家族として前任の中野さんにいろいろ相談していた経緯があったので概ね理解できました。県にこのような相談窓口があることはとても頼もしいです。
- ・記載なし1名

5. 今回の講演会の満足度

とても理解できた	まあ理解できた	難しかった	記載なし
1名	4名	0名	0名

6. 次回の講演会の要望について

- ・まだ夫は認知症との診断は出ていませんが、それが何年もかかる人もいると思うと不安でいっぱいです。不安を取り除きたいですね。
- ・当事者の声を発信しやすい環境づくり。家族会の立ち上げや活動についてパワーをもらいたい。
- ・ヤングケアラーの問題や経済的な課題など、若年性認知症の家族が直面する問題（若年性に特化した課題に付随する家族の苦しみや悩み）について、個人情報の問題はあると思いますが、具体例を交えた解決方法のお話などを多く聞いて家族同士で共有したいです。
- ・記載なし2名

7. 今後オンラインでの講演会開催について参加の有無について

参加したい	参加したくない
4名	0名
参加するなら	参加出来ない
職場（0名）自宅（0名） 記載なし2名	5名（理由）オンライン環境なし3名、 パソコンを持っていない1名 ※ネット環境はないので、今回のようなサテライト型であれば参加可能です。

8. コーディネーターに望むことや、欲しい情報など

- ・年間の予定とかわかりましたら、参考にしたいと思います。
- ・県に1人というのは大変だと思うので、増員できたらいいと思います。
- ・記載なし3名

9. コーディネーターに相談したいことはあるか？

- ・心の葛藤があって、他人には主人の全てを話すには勇気はありません。
- ・記載なし4名